

パンダマグロ号 (ラッピングトラック)

サカイ引越センターのコーポレートキャラクター「まごころパンダ」と「近大マグロ」を組み合わせたラッピングデザイン。停車中のトラックを背景に、写真を撮りたくなる“映えスポット”となる工夫がされている。後部扉には二次元コードのシールが貼付され、共同研究の経緯やデザイン案などを閲覧できるようになっている。

株式会社サカイ引越センター



文芸学部 芸術学科 安 起瑩



まごころこめておつきあい
サカイ引越センター
サカイ引越センター × 近畿大学 産学連携デザイン
本活動の経緯やデザイン案などを閲覧できます。



株式会社サカイ引越センター
代表取締役社長
田島 哲康 様

企業様の声

当社は、引越を軸にお客様の新たな生活や人生の節目を支援している新生活応援企業です。本取り組みでは、「デザインの力で引越のイメージを変えてほしい」という当社の想いを近畿大学の学生の皆さんにお伝えし、トラックのラッピングデザインに挑戦していただきました。大阪府堺市の本社にあるサカイギャラリーの見学や研修ハウスでの引越体験、社員とのディスカッションを通して、引越の仕事の流れや現場の工夫、そして当社が大切にしている価値観を、五感を通じて理解を深めていただきました。その過程で生まれた複数のデザイン案からは、学生ならではの柔軟な発想や豊かな表現力が随所に感じられ、社内でも新鮮な驚きと前向きな刺激を受けました。最終的には約6,000名の社員による投票を行い、選ばれたデザインを3台のトラックにラッピングしています。完成したトラックは現在、全国各地を走り、多くのお客様や地域の方々の目に触れています。

学生の感性と私たちの仕事が変わることで、引越というサービスが持つ可能性の広がりを改めて実感しました。街を走るトラックを見るたびに、この取り組みが社会との新たな接点になっていると感じています。近畿大学とのコラボレーションを通じて、引越に対するイメージがより前向きで親しみやすいものへと変わっていくことを心から願っています。今回の出会いを大切に、今後もぜひ連携を続けながら、共に新たな価値を創出していきたいと考えています。



共同研究の様子①



共同研究の様子②



1

技術相談

2

研究者との
マッチング

3

共同研究申込み

4

研究

5

車両展開